

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年2月22日提出

【会社名】 ファイザー・インク
(Pfizer Inc.)

【代表者の役職氏名】 副社長兼秘書役 マーガレット・M. マデン
(Margaret M. Madden, Vice President and Corporate Secretary)

【本店の所在の場所】 アメリカ合衆国10017-5755 、ニューヨーク州
ニューヨーク、イースト42番ストリート 235
(235 East 42nd Street, New York, NY 10017-5755, U.S.A.)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 石 井 禎

【代理人の住所又は所在地】 東京都港区六本木一丁目9番10号
アークヒルズ仙石山森タワー28階
ベーカー＆マッケンジー法律事務所(外国法共同事業)

【電話番号】 (03) 6271-9900

【事務連絡者氏名】 弁護士 丹 羽 達 也

【連絡場所】 東京都港区六本木一丁目9番10号
アークヒルズ仙石山森タワー28階
ベーカー＆マッケンジー法律事務所(外国法共同事業)

【電話番号】 (03) 6271-9900

【縦覧に供する場所】 なし

(注) 別段の記載がある場合を除き、本書に記載の「米ドル」及び「ドル」はアメリカ合衆国ドルを指す。本書において便宜上記載されている日本円への換算は、1米ドル＝114.29円の換算率（平成28年2月17日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行対顧客電信直物売買相場仲値）により換算されている。

1 【提出理由】

2015年11月22日、米国デラウェア州法の下で設立されたファイザー・インク（以下「当社」という。）は、アイルランド公開有限会社であるアラガンplc（以下「アラガン」という。）及びアラガンの直接完全子会社であり米国デラウェア州法の下で設立されたワトソン・マージャーサブ・インク（以下「合併準備子会社」という。）を含むその他の当事者と、合併契約及び合併計画（以下「本合併契約」という。）を締結した。本合併契約及びそれに記載される条件に従い、合併準備子会社は当社に吸収合併され（以下「本合併」という。）、当社は、アラガンの直接完全子会社として存続する。

当該取引は株式交換に相当するため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第6号の2の規定に基づき、下記のとおり本報告書を提出するものである。

2 【報告内容】

(1) 当該株式交換の相手会社についての事項

(a) 商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金又は出資の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

下記の情報は、アラガンが2015年11月6日に米国証券取引委員会に提出した10-Q様式四半期報告書より抜粋したものである。当社は、下記に表示される情報の正確性について責を負わない。

商号	アラガン plc (Allergan plc)
本店の所在地	アイルランド、D17 E400、ダブリン、クーロック、 クロンショー・ビジネス・テクノロジーパーク (Clonsbaugh Business and Technology Park, Coolock, Dublin, D17 E400, Ireland)
代表者の役職及び氏名	氏名：ブレントン・L. サンドース (Brenton L. Saunders) 役職：社長兼最高経営責任者 (President and Chief Executive Officer)
資本金の額 (2015年9月30日現在)	68,241.4百万ドル (7,799,310百万円)
純資産の額 (2015年9月30日現在)	77,480.1百万ドル (8,855,201百万円)
総資産の額 (2015年9月30日現在)	142,816.3百万ドル (16,322,475百万円)
事業の内容	アラガンは、グローバル・スペシャリティファーマであり、メディカルエステのブランド製品、ジェネリック薬、ブランドジェネリック薬、バイオシミラー及び市販薬の開発、製造、マーケティング及び販売を行っている。

(b) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

下記の情報は、*の列を除き、アクタヴィス plc (Actavis plc) ^[1]が2015年2月18日に米国証券取引委員会に提出した10-K様式年次報告書より抜粋したものである。「*2014年12月31日に終了した年度（見積）（未監査）」は、アラガン plcが2015年7月17日に米国証券取引委員会に提出した8-K様式報告書の添付書類であるExhibit 99.1より抜粋した、見積上の業績である。当社は、下記に表示される情報の正確性について責を負わない。

[1] アクタヴィス plcは2015年3月17日にアラガン・インク (Allergan, Inc.) の買収を完了した。合併会社の社名はアラガンplcである。

(単位：百万 ドル)	*2014年12月31日 に終了した年度 (見積)(未監査)	2014年12月31日 に終了した年度	2013年12月31日 に終了した終了年度	2012年12月31日 に終了した終了年度
売上高	\$ 22,595.5 (2,582,440百万円)	\$ 13,062.3 (1,492,890百万円)	\$ 8,677.6 (991,763百万円)	\$ 5,914.9 (676,014百万円)
営業損失/利益	\$ (3,823.9) (437,034百万円)	\$ (1,267.7) (144,885百万円)	\$ (423.2) (48,368百万円)	\$ 315.7 (36,081百万円)
税引前損失/利益	\$ (5,184.5) (592,537百万円)	\$ (1,712.1) (195,676百万円)	\$ (638.4) (72,963百万円)	\$ 245.1 (28,012百万円)
純損失/利益	\$ (4,557.9) (520,922百万円)	\$ (1,630.2) (186,316百万円)	\$ (751.1) (85,843百万円)	\$ 98.3 (11,235百万円)

(c) 大株主の氏名又は名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合

下記の情報は、アラガンが2015年4月24日に米国証券取引委員会に提出した株主総会招集通知及び議決権行使勧誘書類より抜粋したものである。当社は、下記に表示される情報の正確性について責を負わない。

(2015年4月10日現在)

大株主の氏名又は名称	発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合
FMR・LLC	5.0%

(d) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	本件取引後、本合併において現金が最大額の120億ドル支払われることを前提とした場合、完全希薄化ベースにおいて、当社の旧株主は、合併会社（下記に定義する。）の約56%の持分を保有することになり、アラガン株主は、合併会社の約44%の持分を保有することになる。
人的関係	該当なし
取引関係	重要な取引関係はない。

(2) 当該株式交換の目的

当社の革新的事業は、アラガンの主力ブランド薬によって成長を続ける収益が加算されることにより、大幅に拡大するであろう。その主力ブランド薬は、美容医療及び皮膚科、眼科、胃腸管系、神経科及び泌尿器科といった価値ある治療分野において強力かつ革新的なものである。合併会社（下記に定義する。）は、重点領域における優れた医薬品のより広範な革新的ポートフォリオ及び多様な支払者グループによる持続的成長基盤から恩恵を受けるであろう。アラガンとの合併と共に、当社は、新規化合物及び製品ライン両方の拡張にあたり、研究開発機能を強化する。中期から後期段階の100を超える開発プログラムと研究開発及び製造へ投資を行うためのより多くの資源を組み合わせたパイプラインは、長年にわたり、革新事業の成長を維持するものと期待される。合併会社は、製品認可、発売及び既存品の業績まで、成長を実現するトップを目指す。

当社とアラガンの合併は、当社のエスタブリッシュ製品事業の規模を大幅に拡大し、両社の補完的關係をもって、エスタブリッシュ製品ポートフォリオの統合を最大化する。また、アラガンのウィメンズヘルス及び抗感染症薬のポートフォリオが加わるにより、当社のエスタブリッシュ製品事業が充実し、当社は、アラガンの既存の商業機能、インフラ及び世界的運営規模を利用することで、アラガンのエスタブリッシュ製品ポートフォリオの対象範囲を拡大する。さらにアラガンは、局所製剤、製造及びアラガンの子会社であるアンダの販売機能を合併会社に提供する。

(3) 当該株式交換の方法及び株式交換に係る割当の内容、その他の株式交換契約の内容

本合併直前に、またアラガンの株主による承認を条件とし、本合併契約で予定されるとおり、アラガンの各普通株式（以下「アラガン株式」という。）は、合併会社の株式11.3株に分割される。本合併の結果、当社の普通株式（以下「当社普通株式」という。）の各発行済株式は、当社、アラガン又は合併準備子会社が保有する株式、株式買取請求権が適切に行使される株式、及び当社の子会社が保有する株式を除き、保有者の選択により、（ ）アラガン（本合併完了後は「合併会社」という。）の有効に発行され追加払込義務のない全額払込み普通株式1株（以下「交換比率」という。）を受領する（以下「株式支払対価」という。）、又は（ ）本合併の効力発生時直前の取引日におけるニューヨーク証券取引所（以下「NYSE」という。）の当社普通株式の1株当たり出来高加重平均価格に等しい現金を受領する（以下「現金支払対価」という。）権利に転換される（下記の比例配分に従う。）。交換比率は、上述のアラガンの株式分割の影響を考慮している。

当社の株主による株式支払対価及び現金支払対価の選択は、本合併契約に記載の比例配分に関する手続きに従い行われ、当社の株主は、総額60億ドル以上120億ドル以下の現金対価を受領する。選択を行わなかった当社の株主は、株式支払対価を選択したものとみなされる。

本合併の完了は、特に以下を含む一定の取引実行条件に従う。その条件とは、（ ）当社の株主による本合併契約の承認及び採択、（ ）アラガンの株主による、(A)アラガン株式の1:11.3の比率による分割、(B)本合併に伴うアラガン株式の発行、(C)アラガンの取締役役員数15名への増員、(D)アラガンの授權資本株式の増加、に関する承認（以下、総称して「アラガン株式承認」という。）、（ ）本合併完了における法的課題の不在、（ ）1976年ハート・スコット・ロディノ反トラスト法（修正済）に基づき本合併に適用される待機期間の満了又は終了、及びその他の特定の反トラスト当局による同意又は当該当局への申請、（ ）アイルランドの目論見書法に定めのある場合はアイルランドの目論見書の承認、（ ）アラガンが提出するForm S-4登録届出書の米国証券取引委員会による効力発生通知、（ ）上述のアラガンの株式分割実施、（ ）一部の重要性に関する除外事項に従い、当社及びアラガンが作成した表明及び保証条項の正確性、並びに本合併契約に基づく各義務に関する、当社及びアラガンによる全ての重要事項の遵守、（ ）本合併において発行されるアラガン株式のNYSEへの上場承認などである。これに加えて、本合併を完了する当社の義務は、アラガンとテバ・ファーマシューティカル・インダストリーズ・リミテッドとの間で締結された、2015年7月26日付の売買基本契約書（本合併契約の条件に従い今後修正されるものを含む。）に企図される取引実行が条件である。

(4) 株式交換に係る割当ての内容の算定根拠

当社及びアラガンは、両社の取締役会が、革新的バイオ医薬品を製造する当社と、世界的な製薬会社であり新しい業界モデル「Growth Pharma」のリーダーであるアラガンが合併することを全員一致で承認し、両社は最終合併契約を締結した。合併は、2015年11月20日における当社の普通株式の終値32.18ドルに基づき、アラガン株式1株当たり363.63ドルの価格（合併総額約1,600億ドル）による株式取引で行われる。当該取引は、影響を受けていない2015年10月18日現在の当社及びアラガンの株価に基づく30パーセントを超えるプレミアムが付加されている。アラガンの株主は、それぞれが保有する各アラガン株式につき、合併会社の株式11.3株を受領し、当社の株主は、それぞれが保有するファイザー株式につき、合併会社の株式1株を受領する。

(5) 当該株式交換の後の株式交換完全親会社となる会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金又は出資の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

下記の情報は、アラガンが2015年11月6日に米国証券取引委員会に提出した10-Q様式年次報告書より抜粋したものである。当社は、下記に表示される情報の正確性について責を負わない。

商号	アラガン・plc (Allergan plc)
本店の所在地	アイルランド、D17 E400、ダブリン、クーロック、 クロンショー・ビジネス・テクノロジーパーク (Clonsaugh Business and Technology Park, Coolock, Dublin, D17 E400, Ireland)
代表者の役職及び氏名	氏名：ブレントン・L. サンダース (Brenton L. Saunders) 役職：社長兼最高経営責任者 (President and Chief Executive Officer)
資本金の額 (2015年9月30日現在)	68,241.4百万ドル (7,799,310百万円)

純資産の額（2015年9月30日現在）	77,480.1百万ドル（8,855,201百万円）
総資産の額（2015年9月30日現在）	142,816.3百万ドル（16,322,475百万円）
事業の内容	アラガンは、グローバル・スペシャリティファーマであり、メディカルエステのブランド製品、ジェネリック薬、ブランドジェネリック薬、バイオシミラー及び市販薬の開発、製造、マーケティング及び販売を行っている。

- (6) 株式交換に係る割当ての内容がその株式交換完全親会社の株式、社債、新株予約権、新株予約権付社債又は持分以外の有価証券に係るものである場合の当該有価証券の発行者の上記(1)の内容

該当なし。

以上